

なかえち
中依知遺跡群第3次調査

厚木市 No.33・87・158・159 遺跡



1. 1号墳 石室床面検出状況



2. 1号墳 玄室内副葬品出土状況



3. 1号横穴墓 玄室(奥)および前庭部(手前)の礫出土状況



4. 3号横穴墓 前庭部奥壁の石積施設

● 主な調査成果

令和4年度は、台地上西側の調査区(3区)と西側斜面の調査区(5区)の調査を実施しました。5区の調査は次年度(令和5年度)へ継続します。

3区では古墳時代後期の円墳である1号墳の調査を行いました。1号墳は調査区北端にあり、墳丘の高まりが少しばかり残っていましたが、半分以上が調査区域外にあります。横穴式石室の一部と墳丘を取り囲む周溝の南側約1/3ほどを調査することが出来ました。玄室(遺骸を納める部屋)の中から、直刀や鉄鏃などの副葬品が出土しました。

5区では古墳時代後期の横穴墓の調査を行っています。横穴墓の前庭部奥壁(横穴入口の周囲)に石を積んでいる珍しい施設が発見されています。

- 調査期間 2020年11月1日～調査中
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 厚木市中依知
- 遺跡位置 小田急小田原線本厚木駅の北約4kmの中津台地上

